

言葉の現在地 2025

漫画単純化せずに

ミャンマーで2021年2月に軍がクーデターを起して全権を握ってから、もうすぐ4年になる。民主化を求めて抵抗する国民に対し、軍の弾圧や攻撃が続いている。そんな中で昨年10月、日本の出版社からミャンマーの今を伝える漫画と詩集が出版された。(編集委員 関口裕士)

「2月1日早朝、ミャンマー最後の戦争が始まった。」という題の漫画は札幌の寿郎社が出版した。フランス人ジャーナリストの脚本に台湾の漫画家が絵を描き、ミャンマー出身の京都の大学教員が日本語に訳した。日本語版は、寿郎社の編集長で北大学術研究員の下郷季さん(34)が手がけた。原著を見て「誠実な印象を受けた」という。

「誇張やデフォルメ(単純化)を極力避けて、現状をありのままに伝えていく」と感じました。

21年2月1日、国民民主連盟(NLD)が圧勝した前年の選挙に不正があったとして軍が政権を奪取。NLDのリーダーでノーベル平和賞も受けたアウンサンチー氏ら幹部を拘束した。これに対し、多くの国民が自発的な不服従運動を展開した。漫画にはヘルメットにゴーグル、マスク姿でデモに参加し、抗議の意味を込めて家で鍋をたたき、抵抗を示す3本指を立てる市民の姿などが描かれる。

下郷さん自身、以前はミャンマーのことをほとんど知らなかった。クーデターの2カ月後、道内在住のミャンマー人による

ミャンマークーデターから4年



『2月1日早朝、ミャンマー最後の戦争が始まった。』の一場面(寿郎社提供)

忘れられた国にしてはいけない

心の奥の叫び 拾い集める

デモの打ち合わせに偶然参加し、関心を持った。その日のうちにミャンマー語の辞書を買った。22年には北大でミャンマーを知るための5回の市民向け講座を企画、開催し、その記録集も寿郎社から出版した。

出入国在留管理庁によると昨年6月末時点で道内在住のミャンマー人は3952人。日本全体だと11万3006人でクーデター前の3倍に増えている。

漫画は、日本国内のミャンマー人にも読んでほしいと全ての漢字に読み仮名を振っている。日本各地で不服従運動を行うミャンマー人12人のメッセージも添えた。年表や、訳者が日本の読者向けに書いた解説もある。

詩人たちの「証言」

東京の詩人四元康祐さん(65)は、ミャンマーの詩人たちの40編の詩を日本の詩人仲間らと編訳し、「ミャンマー証言詩集」から新芽を摘んでも春は止まらない」の題で、港の人という出版社から出した。抵抗詩ではなく証言詩。「詩人たちの悲鳴のような言葉を記録した」

英国在住のミャンマー人の詩人からのメールがきっかけだった。「たまたま僕のところに着いた。応援してくれというわけではなく、ただ自分たちの声を聞いてほしい」と、1日も早くミャンマーに平和



「ミャンマーの今を伝える」の著者・下郷季さん(札幌市中央区(北波留)撮影)

ミャンマー 旧ビルマ。首都は2006年まで最大都市ヤンゴンで以降はネピドー。面積は日本の1.8倍で人口は日本の半分ほど。9割近くが仏教徒。約7割を占めるビルマ族と数多くの少数民族が暮らす。太平洋戦争中は日本が一時占領した。1948年に英国から独立後、現在を含め7割の期間は軍の統治下にある。



この国を、忘れられた紛争国にしてはならない。(中西嘉宏「ミャンマー現代史」より)

ミャンマーについて私たちが日本人は多くを知らない。2022年に「ミャンマー現代史」(岩波新書)を出した京都大東南アジア地域研究研究所准教授の中西嘉宏さん(47)に歴史や現状を聞いた。



身の回りから関心広げて

なかにし・よしひろ 兵庫県出身。東北大学。京大博士。他の著書に「サントリー学芸賞」を受けた「ロヒンギャ危機」(中公新書)など。

ミャンマーは、憲法も議会もなく軍が直接統治する体制。ミャンマーは、憲法も議会もなく軍が直接統治する体制もなく軍が直接統治する体制もありません。でも、あまりにも遠くを見すぎています。今この瞬間も市民の生命と財産が脅かされています。現状を放置することは人道的に許されることではない。まずは暴力を止めるために国際社会は力を尽くすべきです。



「詩人たちの『人間の声』を聞いてほしい」と言う四元康祐さん(東京・港区(中川町)撮影)

「詩は比喩を使う。『斜めから』語ることも多い。『撃たれて血を流した』と書くが新聞記事のような情報になる。それではこぼれ落ちてしまうものがある。『こぼれ落ちる感情や意識、叫びのようなものを拾い集めるのが詩だ』と思うんです」

革命の花が咲く前に
一発の銃弾が誰かの脳みそを
路上にぶちまける。
その頭蓋骨の叫びが君に聞こえたか?
(ケイザウイン「頭蓋骨」より)

平和はべらべらの紙の上に乗っている。
あなたは平和を知らない。
僕は平和を知らない。
(リンモウスエー「平和を測る水量計」より。いずれも四元康祐訳)

ご注文は下記にご記入の上→寿郎社 FAX011-708-8566

Order form with fields for publisher (寿郎社), price (2000円), title (2月1日早朝、ミャンマー最後の戦争が始まった。), and contact information.